

# 新しい道徳の授業展開について

これまでの実践から、道徳の授業展開についてまとめました。

## 1 指導過程について

- ①導入5分
- ②展開前半20分:読み物資料から道徳的価値について考える 発問は1つ
- ③展開後半20分:自分の生活の振り返りから道徳的価値について考える 発問は1つ
- ④終末5分:本時の振り返りを行う。

※道徳的価値:本時のねらいとしている道徳的価値

## 2 導入について

- 5分間しかないことから、とにかく早く、展開前半に入る。
- 子どもの意識が本時の内容に向けば良い。

## 3 展開前半について

- 読み物資料から、本時のねらいである道徳的価値について考える。
- 資料を読むのは、範読ではなく、個人読みがよい。(主体的な学びを求めるなら、)  
※時間を節約するために、範読の方がよいかもしれない。
- 資料の内容が早く理解できるような工夫が必要である。
- 読み物資料から読み取るのは、登場人物の心情ではない。
- 展開前半における発問は1つだけとする。(時間が限られていることから)
- 従って、発問は読み物資料から道徳的価値について考える発問となる。
- 発問は個人で考え、ノートやワークシートに書く。
- 班で交流した後に、学級全体で交流する。

## 4 展開後半について

- 自分の生活の振り返りから道徳的価値について考える
- 本時のねらいにある道徳的価値に関わってこれまでの自分を振り返る。
- 自分の振り返りから、その道徳的価値について考える。
- 振り返った内容をノートやワークシートに書く。
- 班で交流した後に、学級全体で交流する。

## 5 終末について

- 本時の振り返りをする。
- 道徳ノートやワークシートの振り返り項目について○をつける。
- その項目の中で特に心に残った項目を1つ選び、具体的な内容について書く。
- 書く内容は一行程度でよい。(時間が限られていることから)
- 道徳の評価にこの振り返りを活用する。